

潜入!! 工場現場

途ちゅアフター

第26回>>> 脱炭素社会へ 地域新電力会社を設立



トチュー調査員

新電力会社が設立されると聞いて
設立式に潜入。なんとその主要電源は
廃棄物処理場から生まれる電力なんだって!
脱炭素に向けた取り組みを調べてきたよ

市では、柏商工会議所と千葉銀行の3者で共同出資し、4月18日に地域新電力会社「かしわパブリックエネルギー」を立ち上げました。自治体主体の地域新電力会社の設立は県内で5社目となり、来年4月の事業開始に向けて準備を進めています。事業開始時は、市役所本庁舎や小・中学校など、市内90カ所の公共施設に電力を供給する予定です。まずは、供給先を市内の全公共施設に拡大することを目標とし、その後、事業所や一般家庭への電力販売や事業収益を市内の脱炭素関連事業の支援に活用していくことを計画しています。



地域新電力会社設立会見。ロゴは、途切れることなく結ばれていく、「エネルギー」「経済」「人」のつながりで地域が発展し、柏の未来を創造することをイメージ



かしわパブリックエネルギー
Kashiwa Public Energy

トチュー調査員の もっと知りたい!

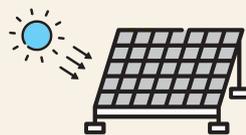
Q1 新会社の設立がなぜ脱炭素につながるの?

A 新会社が供給する電力は化石燃料を使用しないカーボンフリー電力です。そのため、電力が要因である公共施設の二酸化炭素排出量は、年間およそ7,300トン削減できる想定です※令和5年度の市の排出量から試算

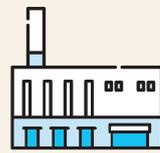
Q2 本社はどこにあるの?

A 本社は市役所本庁舎としています。事務所は現在、検討中です

【問い合わせ】 広報広聴課 ☎7167-1175・FAX 7166-8289

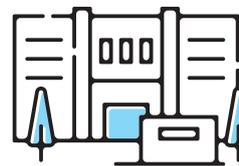


太陽光発電
太陽光で作られた電力



ゴミ処理場
ごみの焼却熱で作られた電力

カーボンフリーの
電力を集約



- 収益は地域に還元
- 電気料金を削減
- CO₂削減

地域新電力会社

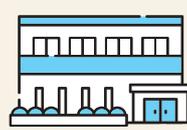
電力を供給



公共施設



事業所



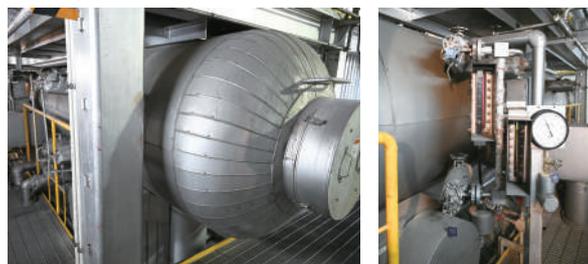
一般家庭

市内で生まれた
電力を市内で消費する
まさに地産地消だね!



主な電力源となるのは南部・北部クリーンセンターで発電するカーボンフリーの電力です。ごみを焼却した時に発生する熱を利用して蒸気を作り、タービンを回すことによって発電します。焼却時に発生する熱を無駄にしない、環境に優しい電力なんだそうです。

クリーンセンターでは、これまでも廃棄物発電を行っていて、発電した電力は工場内での利用分を除き、市外に売却しています。しかし、今後は、地域新電力会社の誕生により、その余った電力を市内に供給することが可能となります。このように市内で生まれた電力を市内で消費する「電力の地産地消」は、脱炭素社会の実現に大きく貢献するものと期待されています。



南部クリーンセンターのボイラの外観。焼却炉で発生する廃ガスの温度を下げると同時に、回収した熱で蒸気を発生させます

柏の地域新電力会社は脱炭素の推進と地域経済振興の両立、そして市民生活の質の向上に向けて取り組んでいくんですね。ご協力いただいたゼロカーボンシティ推進課の皆さんありがとうございました!